

平成29年5月17日

平成29年度免許状更新講習 第5回認定の概要

＜第5回認定状況＞

認定大学等数	53大学等		
必修領域（6時間）	29大学等、	37講習、	3,410人（通信等を除く）
		41講習、	3,770人（通信等を含む）
選択必修領域（6時間）	31大学等、	62講習、	4,030人（通信等を除く）
		66講習、	4,390人（通信等を含む）
選択領域（18時間）	50大学等、	231講習、	4,299人（通信等を除く）
		245講習、	5,659人（通信等を含む）

＜第5回までの認定累計＞

認定大学等数	529大学等		
必修領域（6時間）	348大学等、	822講習、	96,195人（通信等を除く）
		857講習、	140,505人（通信等を含む）
選択必修領域（6時間）	374大学等、	1,760講習、	107,288人（通信等を除く）
		1,852講習、	270,308人（通信等を含む）
選択領域（18時間）	515大学等、	7,379講習、	114,012人（通信等を除く）
		7,685講習、	209,089人（通信等を含む）

【参考】

＜平成28年度認定累計＞

認定大学等数	531大学等		
必修領域（6時間）	347大学等、	803講習、	94,499人（通信等を除く）
		828講習、	126,979人（通信等を含む）
選択必修領域（6時間）	367大学等、	1,705講習、	107,579人（通信等を除く）
		1,780講習、	216,759人（通信等を含む）
選択領域（18時間）	514大学等、	7,420講習、	112,600人（通信等を除く）
		7,645講習、	172,490人（通信等を含む）

---

※必修領域、選択必修領域、選択領域のいずれも6時間以上の講習を開講。  
※選択領域の受入人数は、18時間相当に換算している。

## 平成29年度 免許状更新講習 第5回認定大学等一覧

## (国立大学)

1	千葉大学
2	岡山大学

## (公立大学)

3	宮城大学
4	岡山県立大学

## (私立大学)

5	八戸学院大学
6	八戸学院大学短期大学部
7	つくば国際短期大学
8	足利工業大学
9	国際医療福祉大学
10	埼玉工業大学
11	国際学院埼玉短期大学
12	城西国際大学
13	千葉商科大学
14	桜美林大学
15	上智大学
16	星槎大学
17	金城大学
18	金城大学短期大学部
19	長野大学
20	岐阜女子大学
21	聖隷クリストファー大学
22	愛知大学
23	豊橋創造大学短期大学部
24	京都産業大学
25	京都聖母女学院短期大学
26	大阪大谷大学
27	関西外国語大学
28	甲南女子大学
29	神戸女子大学
30	湊川短期大学
31	環太平洋大学
32	くらしき作陽大学
33	中国学園大学
34	美作大学
35	川崎医療短期大学
36	中国短期大学
37	徳島工業短期大学

- |    |              |
|----|--------------|
| 38 | 九州共立大学       |
| 39 | 久留米大学        |
| 40 | 筑紫女学園大学      |
| 41 | 久留米信愛女学院短期大学 |
| 42 | 東筑紫短期大学      |
| 43 | 宮崎国際大学       |
| 44 | 宮崎学園短期大学     |
| 45 | 沖縄キリスト教学院大学  |
| 46 | 沖縄キリスト教短期大学  |

(複数大学等の共催)

- |    |                     |
|----|---------------------|
| 47 | 桜花学園大学・名古屋短期大学      |
| 48 | 広島文化学園大学・広島文化学園短期大学 |

(その他法人)

- |    |                        |
|----|------------------------|
| 49 | 公益財団法人音楽鑑賞振興財団         |
| 50 | 公益財団法人才能開発教育研究財団       |
| 51 | 公益財団法人全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 |
| 52 | 一般財団法人建設業振興基金          |
| 53 | 公益社団法人日本幼年教育会          |

## 平成29年度免許状更新講習の認定状況

## 【第5回までの認定累計】

	大学等数	講習数	受入人数	
			(通信等を除く)	(通信等を含む)
必修領域	348大学等	857講習	96,195人	140,505人
選択必修領域	374大学等	1,852講習	107,288人	270,308人
選択領域	515大学等	7,685講習	114,012人	209,089人

(内訳)

		大学等数	講習数	受入人数	
				(通信等を除く)	(通信等を含む)
第1回	必修領域	34大学等	148講習	9,835人	23,135人
	選択必修領域	41大学等	237講習	10,918人	31,818人
	選択領域	51大学等	799講習	12,448人	40,648人
第2回	必修領域	92大学等	246講習	31,343人	61,413人
	選択必修領域	99大学等	641講習	34,914人	175,734人
	選択領域	143大学等	2,680講習	37,534人	101,271人
第3回	必修領域	133大学等	279講習	37,088人	37,168人
	選択必修領域	141大学等	646講習	41,747人	41,887人
	選択領域	200大学等	2,842講習	42,449人	43,195人
第4回	必修領域	76大学等	143講習	14,519人	15,019人
	選択必修領域	83大学等	262講習	15,679人	16,479人
	選択領域	116大学等	1,119講習	17,282人	18,316人
第5回	必修領域	29大学等	41講習	3,410人	3,770人
	選択必修領域	31大学等	66講習	4,030人	4,390人
	選択領域	50大学等	245講習	4,299人	5,659人

※選択領域の受入人数は、18時間に換算した受入人数である。また、小数点以下を四捨五入しているため、内訳と計が一致しない場合がある。

平成27、28年、29年度更新講習の開設状況比較(必修領域)

	平成27年度認定 (全12回認定分)	平成28年度認定 (全13回認定分)		平成29年度 開設予定 (平成28年 11月時点)	平成29年度認定 (第1～5回認定分)		(参考) 対象の現職教員数	
	受入定員	受入定員	受入定員の 前年度比較	(C)	受入定員	受入予定人数 の前年度比較	第8 グループ	第9 グループ
	(A)	(B)	(B-A)		(D)	(D-B)		
北海道	4,560	4,905	345	4,020	4,950	45	4,130	4,046
青森県	1,360	1,380	20	800	1,340	-40	1,161	1,165
岩手県	1,400	1,400	0	1,400	1,400	0	1,176	1,198
宮城県	1,450	1,370	-80	980	1,300	-70	1,679	1,420
秋田県	960	1,060	100	1,040	950	-110	920	820
山形県	950	970	20	910	1,010	40	846	837
福島県	2,080	2,040	-40	1,470	1,685	-355	1,672	1,515
茨城県	2,378	2,560	182	2,460	2,500	-60	2,500	2,384
栃木県	1,860	1,830	-30	1,600	1,850	20	1,709	1,611
群馬県	2,100	2,230	130	2,140	2,340	110	1,544	1,484
埼玉県	2,974	2,966	-8	2,126	2,896	-70	4,103	3,834
千葉県	3,265	3,510	245	2,995	3,560	50	3,334	3,017
東京都	8,715	7,814	-901	6,919	7,994	180	6,116	6,048
神奈川県	4,256	4,606	350	3,680	4,313	-293	4,073	5,112
新潟県	1,965	1,930	-35	2,050	2,025	95	1,818	1,789
富山県	1,020	940	-80	850	1,028	88	830	1,053
石川県	660	900	240	750	900	0	923	820
福井県	852	884	32	975	1,051	167	734	760
山梨県	820	820	0	820	820	0	700	687
長野県	1,640	1,530	-110	1,440	1,600	70	1,460	1,479
岐阜県	2,100	2,150	50	2,170	2,180	30	1,667	1,597
静岡県	2,420	2,480	60	2,430	2,957	477	2,979	2,687
愛知県	5,059	4,924	-135	3,759	4,589	-335	5,252	5,322
三重県	1,290	1,350	60	1,300	1,345	-5	1,493	1,450
滋賀県	954	934	-20	700	970	36	1,187	1,199
京都府	2,660	2,610	-50	1,930	2,670	60	1,728	1,891
大阪府	5,600	6,360	760	5,620	6,060	-300	5,104	5,081
兵庫県	3,170	2,730	-440	2,540	3,050	320	3,628	3,772
奈良県	880	976	96	880	990	14	1,001	1,021
和歌山県	1,040	1,280	240	1,400	1,400	120	746	743
鳥取県	730	730	0	730	730	0	574	533
島根県	1,000	910	-90	910	1,080	170	576	808
岡山県	2,780	1,970	-810	2,230	2,340	370	1,801	1,798
広島県	1,940	2,040	100	1,800	2,016	-24	2,366	2,349
山口県	1,160	1,280	120	1,070	1,150	-130	1,335	1,210
徳島県	640	640	0	650	660	20	587	640
香川県	1,230	1,090	-140	1,120	1,200	110	757	789
愛媛県	1,000	1,000	0	1,000	1,000	0	1,049	1,060
高知県	820	780	-40	780	780	0	683	663
福岡県	3,210	3,435	225	2,940	3,340	-95	3,071	2,867
佐賀県	990	1,050	60	1,080	1,070	20	767	750
長崎県	1,880	1,800	-80	2,204	2,050	250	1,208	1,297
熊本県	1,320	1,350	30	1,390	1,510	160	1,329	1,390
大分県	780	780	0	860	800	20	1,074	1,120
宮崎県	870	930	60	860	1,070	140	993	1,017
鹿児島県	2,000	1,945	-55	2,050	2,150	205	1,531	1,528
沖縄県	1,255	1,315	60	1,300	1,525	210	1,323	1,358
全国	105	15	-90	0	1	-14	—	—
対面講習 小計	94,148	94,499	351	85,128	96,195	1,696	—	—
通信等	28,520	32,480	3,960	40,510	44,310	11,830	—	—
総計	122,668	126,979	4,311	125,638	140,505	13,526	87,237	87,019

※「第8グループ」は最初の修了確認期限が平成30年3月31日の現職教員、「第9グループ」は最初の修了確認期限が平成31年3月31日の現職教員。「第8グループ」の現職教員のうち、既に平成28年度に講習を受講している人数は把握していない。

平成27、28年、29年度更新講習の開設状況比較（選択必修領域）

	平成27年度認定 （必修領域） （全12回認定分）	平成28年度認定【選択必修領 域】 （全13回認定分）		平成29年度 開設予定 （平成28年 11月時点）	平成29年度認定 （第1～5回認定分）		（参考） 対象の現職教員数	
	受入定員	受入定員	受入定員の 前年度比較		受入定員	受入予定人数 の必修領域と の比較	第8 グループ	第9 グループ
北海道	4,560	5,266	706	4,805	5,737	787	4,130	4,046
青森県	1,360	1,540	180	930	1,480	140	1,161	1,165
岩手県	1,400	1,780	380	1,680	1,780	380	1,176	1,198
宮城県	1,450	1,560	110	1,100	1,490	190	1,679	1,420
秋田県	960	1,154	194	1,134	1,175	225	920	820
山形県	950	1,010	60	950	1,020	10	846	837
福島県	2,080	2,350	270	1,680	1,915	230	1,672	1,515
茨城県	2,378	2,470	92	1,710	2,630	130	2,500	2,384
栃木県	1,860	2,236	376	1,500	2,060	210	1,709	1,611
群馬県	2,100	2,390	290	2,180	2,550	210	1,544	1,484
埼玉県	2,974	4,280	1,306	2,400	3,115	219	4,103	3,834
千葉県	3,265	3,910	645	3,445	4,050	490	3,334	3,017
東京都	8,715	8,529	-186	6,879	8,729	735	6,116	6,048
神奈川県	4,256	4,746	490	3,890	4,995	682	4,073	5,112
新潟県	1,965	2,780	815	3,070	2,800	775	1,818	1,789
富山県	1,020	1,254	234	1,030	1,330	302	830	1,053
石川県	660	980	320	800	950	50	923	820
福井県	852	1,152	300	993	1,094	43	734	760
山梨県	820	1,020	200	1,120	1,120	300	700	687
長野県	1,640	2,060	420	1,860	1,960	360	1,460	1,479
岐阜県	2,100	2,150	50	2,170	2,370	190	1,667	1,597
静岡県	2,420	2,740	320	2,730	3,267	310	2,979	2,687
愛知県	5,059	5,599	540	4,084	5,074	485	5,252	5,322
三重県	1,290	2,425	1,135	1,320	1,370	25	1,493	1,450
滋賀県	954	1,034	80	800	970	0	1,187	1,199
京都府	2,660	3,160	500	1,980	2,836	166	1,728	1,891
大阪府	5,600	6,515	915	3,310	6,391	331	5,104	5,081
兵庫県	3,170	3,172	2	2,652	3,717	667	3,628	3,772
奈良県	880	1,076	196	880	990	0	1,001	1,021
和歌山県	1,040	1,280	240	1,400	1,400	0	746	743
鳥取県	730	790	60	770	830	100	574	533
島根県	1,000	910	-90	910	1,140	60	576	808
岡山県	2,780	2,090	-690	2,420	2,366	26	1,801	1,798
広島県	1,940	2,040	100	1,800	1,980	-36	2,366	2,349
山口県	1,160	1,664	504	1,103	1,143	-7	1,335	1,210
徳島県	640	775	135	775	865	205	587	640
香川県	1,230	1,159	-71	1,180	1,260	60	757	789
愛媛県	1,000	1,272	272	1,050	1,150	150	1,049	1,060
高知県	820	820	0	830	870	90	683	663
福岡県	3,210	3,605	395	3,140	3,534	194	3,071	2,867
佐賀県	990	1,070	80	1,110	1,100	30	767	750
長崎県	1,880	2,455	575	2,324	2,404	354	1,208	1,297
熊本県	1,320	1,750	430	1,910	2,010	500	1,329	1,390
大分県	780	1,023	243	1,100	873	73	1,074	1,120
宮崎県	870	930	60	890	1,100	30	993	1,017
鹿児島県	2,000	2,275	275	2,480	2,512	362	1,531	1,528
沖縄県	1,255	1,333	78	1,320	1,785	260	1,323	1,358
全国	105	-	-	-	1	0	-	-
対面講習 小計	94,148	107,579	13,431	89,594	107,288	11,093	-	-
通信等	28,520	109,180	80,660	126,370	163,020	118,710	-	-
総計	122,668	216,759	94,091	215,964	270,308	129,803	87,237	87,019

※選択必修領域講習は平成28年度からの開設であるため、平成27年度については必修領域講習に対する開設状況の比較を行っている。

※「第8グループ」は最初の修了確認期限が平成30年3月31日の現職教員、「第9グループ」は最初の修了確認期限が平成31年3月31日の現職教員。「第8グループ」の現職教員のうち、既に平成28年度に講習を受講している人数は把握していない。

平成29年度の更新講習の事項別開設状況（選択必修領域）

	受入定員	平成29年度認定【第1～5回認定分】																																																																																																																																																																																																																																																																																																					
		学校を巡る 近年の状況 の変化	学習指導要 領の改訂の 動向等	法令改正及 び国の審議 会の状況等	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	学校におけ る危機管理 上の課題	学校を巡る 近年の状況 の変化	学校を巡る 近年の状況 の変化	学校を巡る 近年の状況 の変化	学校を巡る 近年の状況 の変化	学習指導要 領の改訂の 動向等	学習指導要 領の改訂の 動向等	学習指導要 領の改訂の 動向等	法令改正及 び国の審議 会の状況等	法令改正及 び国の審議 会の状況等	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組 織的対応の 必要性	様々な問題 に対する組

平成27、28年、29年度更新講習の開設状況比較(選択領域)

	平成27年度認定 (全12回認定分)	平成28年度認定 (全13回認定分)		平成29年度 開設予定 (平成28年 11月時点)	平成29年度認定 (第1～5回認定分)		(参考) 対象の現職教員数	
	受入定員	受入定員	受入定員の 前年度比較	(C)	受入定員	受入予定人数 の前年度比較	第8 グループ	第9 グループ
	(A)	(B)	(B-A)		(D)	(D-B)		
北海道	5,619	5,671	52	4,818	5,893	222	4,130	4,046
青森県	1,508	1,437	-71	914	1,338	-99	1,161	1,165
岩手県	1,468	1,555	87	1,532	1,565	10	1,176	1,198
宮城県	2,280	1,836	-444	1,244	1,736	-100	1,679	1,420
秋田県	1,232	1,199	-32	984	1,236	37	920	820
山形県	1,111	921	-189	935	911	-11	846	837
福島県	2,286	2,041	-245	1,884	2,082	41	1,672	1,515
茨城県	2,323	2,424	101	1,517	2,357	-67	2,500	2,384
栃木県	2,090	1,886	-204	1,278	2,211	324	1,709	1,611
群馬県	2,233	2,128	-105	1,711	2,214	86	1,544	1,484
埼玉県	3,781	3,602	-178	2,190	3,592	-11	4,103	3,834
千葉県	3,493	3,401	-93	3,308	3,535	135	3,334	3,017
東京都	11,667	10,986	-681	9,284	10,815	-171	6,116	6,048
神奈川県	3,846	4,381	535	3,129	4,362	-19	4,073	5,112
新潟県	2,596	2,268	-328	2,376	2,443	176	1,818	1,789
富山県	1,455	1,079	-376	999	1,205	125	830	1,053
石川県	1,321	1,308	-13	1,176	1,483	176	923	820
福井県	1,135	1,024	-111	1,256	1,384	361	734	760
山梨県	943	922	-22	887	925	3	700	687
長野県	2,668	2,302	-366	1,935	2,266	-36	1,460	1,479
岐阜県	3,246	3,473	228	3,437	3,353	-121	1,667	1,597
静岡県	2,888	3,064	176	2,665	3,650	587	2,979	2,687
愛知県	5,989	6,140	151	4,179	5,658	-482	5,252	5,322
三重県	1,515	1,375	-141	1,405	1,421	47	1,493	1,450
滋賀県	1,197	1,277	80	687	1,260	-17	1,187	1,199
京都府	3,567	3,130	-437	1,646	3,315	185	1,728	1,891
大阪府	5,866	6,520	653	4,205	5,615	-904	5,104	5,081
兵庫県	3,242	3,240	-2	2,411	3,602	362	3,628	3,772
奈良県	1,067	993	-73	810	830	-163	1,001	1,021
和歌山県	1,313	1,349	36	1,312	1,504	155	746	743
鳥取県	964	849	-115	856	900	51	574	533
島根県	1,341	1,094	-247	1,098	1,156	62	576	808
岡山県	2,481	2,374	-106	2,659	2,316	-58	1,801	1,798
広島県	2,657	2,698	41	2,463	2,672	-26	2,366	2,349
山口県	1,657	1,612	-45	1,344	1,356	-256	1,335	1,210
徳島県	900	913	13	895	1,333	419	587	640
香川県	1,414	1,428	15	995	1,117	-311	757	789
愛媛県	1,135	1,245	110	1,300	1,397	152	1,049	1,060
高知県	1,282	1,237	-45	1,059	1,128	-108	683	663
福岡県	4,299	4,082	-217	3,233	4,168	85	3,071	2,867
佐賀県	1,042	1,101	59	1,027	1,153	51	767	750
長崎県	2,338	2,156	-182	2,374	2,434	278	1,208	1,297
熊本県	1,684	1,691	7	1,546	1,674	-17	1,329	1,390
大分県	855	767	-88	813	883	116	1,074	1,120
宮崎県	1,128	1,200	71	900	1,313	114	993	1,017
鹿児島県	3,239	2,981	-258	3,048	3,324	343	1,531	1,528
沖縄県	2,209	2,222	14	1,407	1,928	-295	1,323	1,358
全国	242	15	-227	0	1	-14	—	—
対面講習 小計	115,812	112,599	-3,213	93,129	114,013	1,414	—	—
通信等	53,743	59,890	6,147	73,457	95,077	35,186	—	—
総計	169,555	172,489	2,934	166,586	209,089	36,600	87,237	87,019

※「第8グループ」は最初の修了確認期限が平成30年3月31日の現職教員、「第9グループ」は最初の修了確認期限が平成31年3月31日の現職教員。「第8グループ」の現職教員のうち、既に平成28年度に講習を受講している人数は把握していない。

※「開設予定」、「受入定員」は18時間相当に換算しているため、個別の値と総計値で誤差が生じることがある。